

見たことのない風景を探して

あらくらたんけんクラブ隊員撮影写真より
関連記事 14ページ

- 今月号の広報
- 2 | 議会だより
- 3 | 第6次西粟倉村総合振興計画
- 4 | SDGs未来都市にしあわくら
- 10 | にしあわくらっ子
- 12 | あわくら会館・図書館



議会だより

6月定例議会 一般質問

福井 正議員

問 交通弱者・買い物弱者対策について

問 第5次総合振興計画策定から現在までに、交通、買い物弱者へどのような施策をされましたでしょうか。また、今後行政として交通弱者、買い物弱者問題に對してのお考えをお伺いします。

答 総務企画課長
総合計画以後の対応について、タクシイの利用補助なども検討しましたが、村内事業者の業務休止などもあり、中止した経緯もありました。また、平成28年度に高齢者等の交通手段確保策

検討調査業務を行い、村外への移動ニーズ、福祉バスを利用しづらい環境にある住民の方への対応、村内の交通資源の有効活用、人材の効率的な運用、教育、観光や産業との連携の必要性も課題として上げられています。具体的な施策は、知

社地区が独自で行っている有償運送事業への助成や、週に1回、大原病院への福祉バスの村外運行を行っています。今後、行政として公共交通をどのように考えていくかですが、新たなサービスで行うとすると村外へは、タクシイ、バス、鉄道など既存の公共交通機関の同意が必要で

す。また、エリア設定料金、実施者、利用者の負担や、村の負担などの

答 村長
持続可能な地域づくりという観点では避けて通れない問題です。移動手段の確保と合わせて、村内での食料や生活必需品などの消費生活の拠点となる施設の整備等についても、策定中の第6次総合振興計画の中に盛り込んでまいります

結 過疎地では利用者の減少により、公共交通が衰退、公的な支援なしでは維持ができません。住民の福祉のために

は地域の实情に最も適した形の支援が望まれます。しかし、利用状況と対比してあまりに合理性に欠ける支援が行われて

いては、支援の継続、拡大に住民の理解を得られなくなり、支援の縮小、廃止の要因や、支援強化、拡大の阻害要因になると

思います。 今回の一般質問に先駆けて、数名の交通弱者、買い物弱者に当たる方とお会いし、お話をさせていただきました。通常、

日常の通院、買い物での利用では、福祉有償運送事業、福祉バスや、智頭急行、他にはタクシイを利用するそうです。しかし、福祉有償運送事業は人の手をかりずに動ける



ん。要介護、要支援を受けてない人たちは日用品の買い物、食に関する購買意欲も旺盛であり、これらを思いどおりに充

足できない場合はストレスの蓄積にもなります。このストレスを解消する手助けをして、本当の意味での「生きるを楽しむ」人生を後押しする必要があります

あると思います。西粟倉村においても、他自治体のタクシイ補助制度を参考に

ここで、救済措置として、例えば福祉有償利用助成金のような形で幾らかでも還付ができる施策の検討をお願いしたいです。公共交通を10年、20年後も維持しなければならぬことを考慮すると、地域公共交通は福祉サービス、インフラの一部であるという認識で、持続可能な交通網の形成に向けて政策を考え、検討をお願いいたします。

現状の公共交通では不具合の部分が少々あり、改善、見直しが必要だと思います。各方面の人たちでプロジェクトを立ち上げ、試行錯誤していけば、交通弱者、買い物弱者の解決の道はあります。できない理由より、

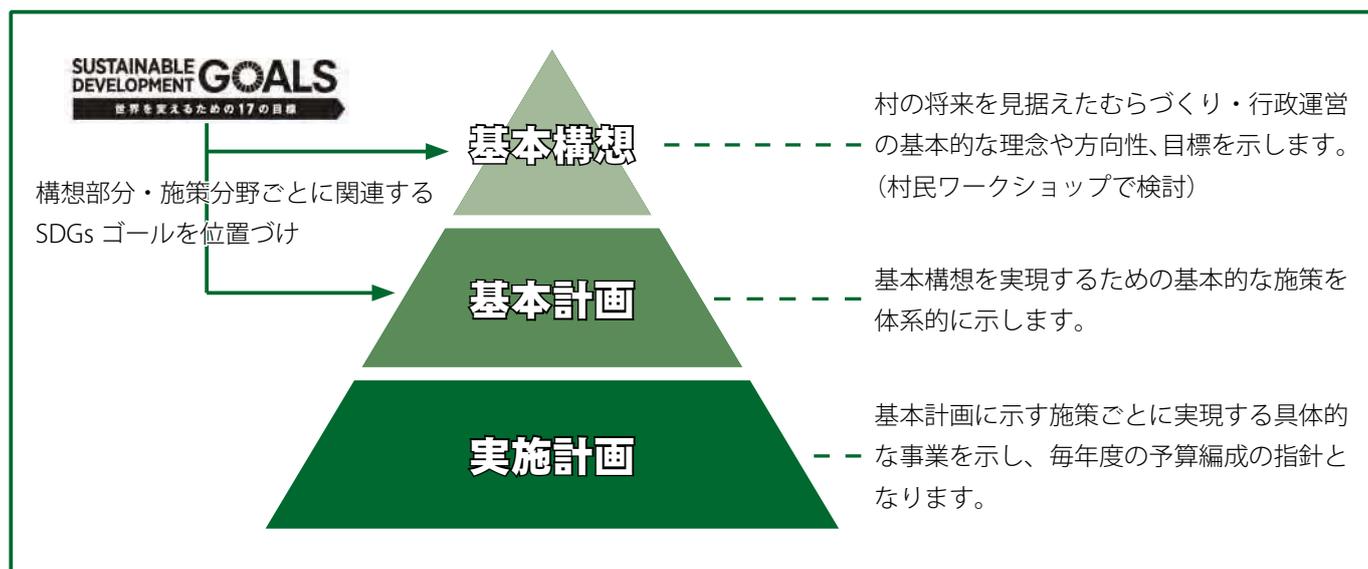
どうやったらできるかを考えていただき、早急に施策をお願いします。

わたし×むら 2030

「第6次西粟倉村総合振興計画」を策定します。
10年後の西粟倉村をみんなで考えましょう！

本村では、平成24年度から「百年の森に囲まれた快適で人が輝く 自然と交流のむら」を村の将来像におき、「第5次西粟倉村総合振興計画」に取り組んでいます。

この現行の総合振興計画は令和3年度に終了予定であり、地方創生を推進する「第1期まち・ひと・しごと創生総合戦略」は令和元年度に終了したことから、それぞれ1年前倒し、1年延長することで、令和3年度を初年度とする一体的な「第6次西粟倉村総合振興計画」の策定を進めることとなりました。



総合振興計画ってなに？

総合振興計画は村のすべての計画の基本となるもので、村における最上位の計画です。将来どんな村にしたいか、村が進むべき方向、その実現に向けた道筋を示したものです。

どうやってつくるの？

現行計画の方向性を維持しながら、2030年の「ありたい姿」を描き、社会情勢の変化により今後10年間で求められること(SDGs、人口減少社会の新たな社会や暮らしのスタイル、オンライン社会変革、気候変動や災害対策など)を上積みしていく計画をつくります。そのため、現行計画の評価やアンケート調査、村民ワークショップを開催し多様な立場の方々々と村の将来を考えていくなど、村民の皆さまと一緒に進めていきます。

「村民アンケート調査」ご協力をお願い

8月上旬に村民のみなさんへアンケート調査表をお届けします。村の現状や将来についてお尋ねし、今後のむらづくりに活かしていきます。

詳しくは、お送りする調査表をご覧ください。

ご協力をお願いいたします。

【西粟倉村 地方創生推進室】

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



(図1)

そして、2017年に開催された「ダボス会議」でSDGsへの取り組みが大きな経済効果を生むという推計が発表されたことで、民間企業がSDGsへの関心を持ち、関連事業への参入のきっかけとなり、今日のSDGs促進へと繋がっています。

SDGsの目標は？

(図1)は2016年～2030年までの15年間で世界が達成すべきゴールを表したものです。SDGsは17の目標と169のターゲットで構成されています。誰ひとり取り残さないことを目指し、先進国と途上国が一丸となって達成すべき目標で構成されているのが特徴です。

未来へつなぐために

世界全体の話を見ると、難しく遠い世界の話のように感じるかもしれませんが、SDGsは私たちの生活に深く関わっています。

あるだけ使う、あるだけ獲ることを繰り返すうちに、地球の環境は汚染され、環境の変化による自然災害が増加、絶滅する生物も増えて地球上の生物の多様性が失われつつあります。今、当たり前のことが、当たり前ではなくなる未来がやってくるかもしれません。

例えば現在は美味しいマグロが当たり前のようにお店で買えますが、10年後には食べられなくなっている可能性もあるのです。これら多くの問題に向き合わなければ地球に未来はないかもしれません。



西粟倉村は平成20年に「百年の森林構想」を掲げました。これは村の財産である森林を、わたしたちの次の世代、その先の未来へ繋いでいくためのものです。これら取り組みの実現には、行政だけでなく、この村の一人ひとりが「自分ごと」として捉え、それぞれの活動や生活の中に落とし込み、浸透させていくことが必要不可欠です。SDGsや関連する村の取り組みについて知り、行動し、一緒にこの村の豊かな生活を未来へ繋いでいきましょう。

次回はSDGsに関連した村の取り組みをテーマとしたいと思います。

【西粟倉村 地方創生推進室】

〈連載〉SDGs 未来都市にしあわくら ～村の未来を創る、考える～

第1話

さまざまな媒体で目にするようになったSDGs（エスディージーズ）という言葉。その内容をみなさんにご存じでしょうか。

西栗倉村は2019年（令和元年）SDGs未来都市に選定されました。これを受け、すでに小学校では村の課題を自分たちなりに解決すべく考えて取り組む授業を、中学校ではSDGs達成に繋がる行動を委員会活動の中に落とし込み、実施しています。

今回から、SDGsとはなにか、またSDGsに関してどんな活動ができるのか知っていただくために、SDGsに関する企画連載を行います。

その先には、村が将来にわたって持続可能な状況をつくるという目標があります。ぜひ、ご家族みなさままでお読みください。

SDGs（エスディージーズ）とは？

「Sustainable Development Goals（サステイナブル ディベロップメント ゴールズ）」の略称であり、2015年9月に国連で開かれたサミットの中で世界のリーダーによって決められた、国際社会共通の目標です。日本語では「持続可能な開発目標」と訳されます。

持続可能な開発とは、「将来の世代のニーズを損なうことなく、現代の世代のニーズを満たすこと」。そのためには、わたしたちの子孫も現在のような豊かな資源や環境の中で安心安全に日々の生活を送ることができるだろうか、と想像することが必要です。

豊かさ引き換えに・・・

みなさんは地球の成長の限界というものを考えることがありますか。わたしたち人類は、産業革命がもたらした経済発展により、現在の豊かで便利な生活を送ることができるようになりました。それに伴い人口も急増、増加を続け、現在では約77億人（日本人は約1.2億人）に達しています。

しかし、人が豊かで便利な生活を追求するのに伴

い、地球の限りある資源が減っているという問題が表面化してきました。1972年に発表された『成長の限界』という報告書は、「このまま人口増加や環境汚染が続けば、（中略）あと100年で地球の成長は限界に達する。」と危機の到来を伝えています。加えて、先進国と開発途上国の貧富の格差が拡大し、環境の保全を考える先進国と、経済発展を優先したい途上国の対立が続いています。



MDGs（エムディージーズ）からSDGsへ

SDGsの前身としてMDGs（ミレニアム開発目標）というものがありません。開発途上国の生活状況改善を主な目標としたMDGsは、2001年～2015年までを達成期限として8つの目標を掲げていました。

（1. 極度の貧困と飢餓の撲滅、2. 普遍的な初等教育の達成、3. ジェンダーの平等の推進と女性の地位向上、4. 乳幼児死亡率の削減、5. 妊産婦の健康状態の改善、6. HIV/AIDS、マラリア、その他の疾病のまん延防止、7. 環境の持続可能性の確保、8. 開発のためのグローバル・パートナーシップの推進）

しかし開発途上国の中には、先進国で一方的に決められたMDGsへ反発し、取り組みへの参加自体に消極的な姿勢を取る国もありました。結果として、MDGsは一定の成果は達成したものの、取り残される地域の存在や、国連や政府だけの取り組みにとどまり民間企業やひとり一人の関心を得られないといった課題が残りました。

一方SDGsは、MDGsを引き継ぐ形で採択されたものの、先進国の課題も反映し、政府や途上国だけでなく、民間企業による取り組みを求めています。

西粟倉村が まるごと「テクノロジー×ローカル」の実証事業の場に『一般財団法人 西粟倉むらまるごと研究所』設立

西粟倉村と企業等が共同で「一般財団法人西粟倉むらまるごと研究所」を村内に設立しました。西粟倉村が掲げる「生きるを楽しむ」を持続可能なものとするため、「最新テクノロジーは地域や人を幸せにできるのか」を命題に、西粟倉村をまるごと検証フィールドとして、企業や研究機関と新技術の研究開発及び地元と連携した実証事業を行ないます。

【設立概要】

- 名称：一般財団法人 西粟倉むらまるごと研究所（代表理事：大島 奈緒子）
- 設立日時：令和2年7月1日
- 設立場所：岡山県英田郡西粟倉村大字長尾1464番地
- 設立者：西粟倉村、村と共に先進的な実証事業に取り組んできた企業をはじめ、テクノロジー、地域、幸福等の研究・実践の第一人者が名を連ねています。



西粟倉むらまるごと研究所
LOCAL INVENTION LAB.

【研究所の使命】

- ① テクノロジー（テクノロジー×泥くささ）の発明
- ② 生態系の本領発揮
- ③ 「生きるを楽しむ」をつなぐ

【研究所の役割】

- ① 地域資源の調査、整理、分析、課題抽出及びそれらのオープンデータ化の実施
- ② 新しい研究活動の創出を目的とした、研究者と地域資源や地域企業等とのマッチング支援
- ③ 安定した研究基盤の構築を目的とした、生活・研究環境の整備及び人的ネットワークの構築
- ④ 研究活動が持続するための資金や人材の獲得

【今年度の取り組み】

- 多種多様な村内データのオープンデータ化
 - テクノロジーの力で草刈りをゲームにし、関係人口を増やす
 - 子供・高齢者も自由な移動を。「地産地消モビリティ」の開発
- 道、住宅、エネルギー、ゴミ、福祉、発酵など、村内の新しい課題や、共同研究を行なう企業をマッチングするごとに、新しくプロジェクトチームを組み、分野を横断した、ここでしかできない研究を進めていきます。

【今後の予定】

- ・ 本年度中に、旧 JA 建物をコワーク、研修施設として改修し開所予定
- ・ 定期的にオンラインイベントやアイデアハッカソン等を開催予定
- ・ 今後も研究等を共にする企業や個人の参画、企業版ふるさと納税による寄付等を募集していきます。

【お問い合わせ先】 一般財団法人西粟倉むらまるごと研究所（担当：秋山）
〒707-0504 岡山県英田郡西粟倉村大字長尾1464番地
電話番号：090-4109-6500 E-mail：muramaruken@gmail.com

梅雨のにしあわくらを歩き楽しむ

「令和2年度ウォーキング大会」を開催

6月27日（土）、「令和2年度ウォーキング大会」を開催しました。

今回のウォーキング大会は別府地区から塩谷地区までの間に2種類のコースを設定。48人の参加者は、道中に咲く紫陽花等を楽しみながら、ウォーキングに励みました。



村内有志チームが熱戦！

「第13回村民ソフトバレーボール大会」が開催

7月12日（日）、体育協会主催「第13回村民ソフトバレーボール大会」が小中学校体育館で開催され、村内の地区やクラブ等を中心とした11チームが熱戦を繰り広げました。

本大会は室内での開催となるため、感染症対策を徹底して実施。集まりやチームスポーツの実施が難しい状況下で、交流と身体を動かす良い機会となりました。

試合結果、個人表彰は以下のとおりです。



優勝 別府①チーム

準優勝 若者チーム

3位 大茅チーム

敢闘賞 スポ少バレーチーム 高木陽翔
若者チーム 政久春斗
別府①チーム 白旗善宏

スポーツを通じた交流で健康に！

「第32回村民ゲートボール大会」が開催

7月18日（土）、コンベンションホールにおいて、体育協会主催「第32回村民ゲートボール大会」が開催され、村内から6チームが参加しました。

試合結果は以下のとおりです。

優勝 長尾チーム

準優勝 筏津チーム

3位 議会チーム



油断は禁物！「新しい生活様式」を続けましょう！

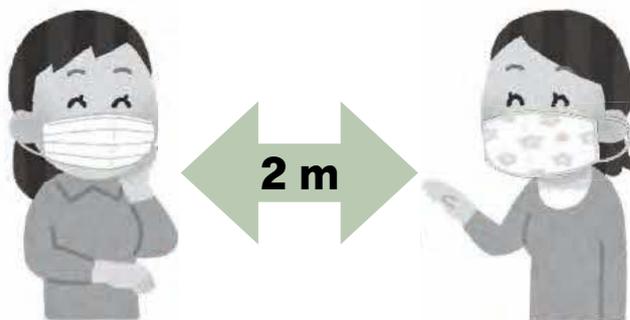
新型コロナウイルスの新規感染者は、7月14日時点でまだ増加傾向にあります。
油断せず、「新しい生活様式」を続けて、感染を予防していきましょう。

人と一緒にいるときは、マスク！

- ・人と十分な距離（少なくとも2m以上）を確保できないときは、マスクをつける。

人との距離＝2m あける。

- ・どんな場所でも、人との距離は2m（最低1m）



手洗い。消毒。

- ・こまめに30秒かけ手洗い（石鹸で）。

いつも換気 窓を開ける。

- ・2方向の窓を開ける。

3密「密閉、密集、密接」を避ける。

- ①換気の悪い「密閉空間」 ②多くの人が「密集」 ③近い距離（密接）の「会話・発声」

- ・発熱・体調悪いときは、すぐに「かかりつけ医」に連絡・受診。

- ・どうしてよいか困ったら、迷わず相談！

⇒岡山県コロナ受診相談センター（24時間）

美作保健所勝英支所 0868-73-4054

一般相談窓口 086-226-7877

⇒西粟倉村診療所（平日8:30～17:15）

0868-79-2220

⇒西粟倉村 保健福祉課（平日8:30～17:15）

0868-79-7100

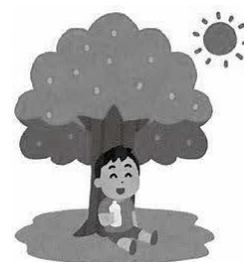
「熱中症」予防も忘れずに。

- ・屋外で2m以上、人と離れていたらマスクをはずす。

- ・喉が渇く前に、こまめに水分補給（1日 1.2～1.5リットルを目安）。

- ・エアコンを積極的に使う（換気とこまめな温度調整）。

- ・暑さを避け、涼しい場所へ移動。



【西粟倉村 保健福祉課】

高齢者元気生活応援金のお知らせ

高齢者のみなさんに、将来にわたって元気で自立した生活を送っていただくことを目的として、80歳以上（8月1日現在）で、介護認定を受けていない方を対象とし、高齢者元気生活応援金を支給します。

応援金の概要は、次のとおりです。対象者には、保健福祉課よりご案内をお送りしていますので、申請をお願いします。

●対象者（8月1日現在）

- ・満80歳以上
- ・介護認定されていない方（申請中も対象外）

●金額

- ・12,000円（1人あたり／年1回）

●申請受付期間

- ・8月1日～8月31日

※ただし、村税等の未納がある場合は、支給されないことがあります



元気で笑顔あふれる毎日のために、ぜひ応援金をご活用ください！

【西粟倉村 保健福祉課 ☎0868-79-7100】

ツキノワグマにご注意ください！

これからの季節のツキノワグマは繁殖のため活動が広域化し、これまでに出没情報がなかった地域でも遭遇する可能性があります。集落付近でのツキノワグマと人との事故を防ぐためには、農地や人家など、集落にクマを近づけないことが大切です。



①農地・道路などの周辺を刈払う

クマのすむ山と農地・人家・道路の境目のやぶを刈り払い、見通しをよくすると、元来臆病な野生動物は、集落に近づきにくくなります。

②家の周りに残飯を捨てない

残飯や生ゴミは、クマのエサになります。コンポストのにおいもクマを呼び寄せます。

③利用しない作物は片付ける

不要になった農作物や、収穫しない果実を見つけると、食べ尽くすまで繰り返し食べに来ます。柿・栗の木のトタン巻き（登れなくする）や不要木を伐採するなど利用しない作物は早めに片付けましょう。

④音の出るものを身につける

笛・鈴・ラジオなど音の出るものを身につけましょう。クマは耳がよく、人の気配を察知してその場から遠ざかります。

【西粟倉村 産業観光課】

保育園だより

七夕祭りをしました！

7月7日（火）に七夕祭りをしました。

この日のために、数日前から2本の大きな竹に願いごとを書いた短冊とお飾り付けをしました。“すくすく元気に大きくなりますように”“優しい女の子になりますように”“大きくなったらドキンちゃんになりたい”など、それぞれの願いごとでいっぱいになりました。そしてスイカや星などの七夕飾りが華やかさを盛り上げ、とても見栄えのする七夕飾りができました。

当日はあいにくの雨模様でしたが、先生のハンドベルの演奏に合わせて歌ったり手遊びをしたりして、和やかで楽しい時間を過ごしました。

夕方にはお家の人と七夕飾りの前で記念写真を撮り、思い出に残る行事になりました。



幼稚園

スペシャルおまつりごっこ

7月8日（水）、園でおまつりごっこをしました。当日子どもたちは、ゆかたや甚平もしくは好きな私服で登園しました。ぞう組からお店の説明があり、ぞう組とうさぎ組のペアとくま組同士のペアでお店を回りました。お店は、ぞう組の焼きそば屋さん・かき氷屋さん・手作り絵本屋さん、くま組のおもちゃ屋さん、うさぎ組のおめん屋さん・ヨーヨーすくい屋さん・スーパーボールすくい屋さん・金魚と恐竜すくい屋さんがありました。また、先生たちからのくじ引きコーナーもありました。

子どもたちはとても楽しそうにお店を回り、レストランの部屋で食べて（疑似）いました。最後にお菓子まきをして、本気でお菓子を拾いました。目標どおり、思いっきり楽しいおまつりごっこになったと思います。



小学校

ふるさと・子どもたちを元気に！『ふるさと元気給食』



ふるさと元気給食

ふるさとをいただき、(味わい・学び・ともに生きる)

ふるさとを元気にする

げんき・えがお・なかよしのもと

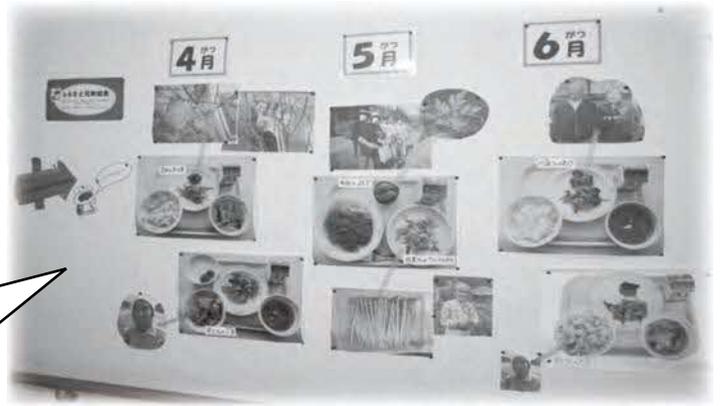


給食の一例

給食に使用する「あわくら食材」は、米をはじめ、地域の方が作られている旬の野菜や、学校で収穫した木の芽や野菜など。使用当日には掲示資料や放送原稿で児童に紹介しています。

給食では、西粟倉村で育った食材、西粟倉村民の方々が作られた食材、また岡山県産の食材を取り入れることで、西粟倉村を元気に、そして、その給食で西粟倉の子どもたちを元気にする取り組みとして、『ふるさと元気給食』と名付けた給食を実施しています。

地域の方々のご協力を得ながら、地場産物を活用した、安全、安心でおいしい給食を提供することで、給食を通して村のこゝと、岡山県のこゝを知り、ふるさとを愛する心を育みたいと考えています。



森林体験学習を通して村の誇りを実感！

中学校



7月9日(木)に森林体験学習を行いました。今年度初の全校での校外活動でした。最初に(株)百森の永美暢久さんから「百年の森構想」について講話をいただき、「今、祖父母の代に植えた木を使わせてもらっている。自分たちも50～100年後のために木を守り育てていく」「かけがえのない豊かな森は村の誇りである」というお話を伺いました。その後、生徒はシルバー人材センターの方が研いでくださった鎌で下草刈りをしました。生き生きと草を刈る姿はとても頼もしく見えました。多くの方々を支えていただき森林体験学習は大成功でした。



あわくら会館で行われる「生きるを楽しむ」イベント・活動を紹介

村民講師イベントの紹介

村民のみなさんが講師として技術や特技、好きなことをイベントやワークショップを開催。一緒に楽しい時間を過ごしませんか？

8月22日(土)

「革のブレスレット&ブローチづくり」

- 講師：渋谷肇さん(渋谷カバン)
- 参加費：2,000円
- 対象：小学生以上※
- ブレスレット(刻印可)
13:00~15:00
- ブローチ
15:00~17:00



※小学生、幼稚園児は保護者の参加が必要です。

8月22日(土) 13:30~14:30

「親子でつくるレジンアクセサリー」

- 講師：北森亜未さん
- 参加費：500円
- 対象：小学生以上(親子)

9月6日(日)

「猫皿と刺繍ブローチづくり」

- 講師：上山奈穂さん(若杉窯所属)
EKKOさん(刺繍作家)

猫皿づくり

猫型のお皿に絵を描いて焼き付けます。

- 材料費：300円~
- 対象：幼稚園児以上※



刺繍ブローチづくり

- 材料費：800円
- 対象：小学生以上※



詳しくはホームページ、館内に掲示のチラシ、Facebookページをご確認ください。



あわくら会館で「生きるを楽しむ」様子を紹介

■やってみん掲示板

「ためき像をきれいにしませんか？」
をやってみました！

筏津公園前のためき像をキレイにしようと“やってみん掲示板”で募集をしたところ、7月11日(土)の当日8名の方が集まってくださいました！

天気予報は雨でしたが、この時は小雨もあがり、天気を味方につけ、こすればこするほど泥だらけのためき像がどんどんきれいになっていきました。

参加者の気持ちもハレバレ、ためき像もうれしそうに見え、充実した時間を過ごすことができました。



■ご利用案内

あわくら会館 西粟倉村影石33-1
・開館時間 8:30~22:00

あわくら図書館(あわくら会館内)
・開館時間 10:00~18:00

・休館日 祝祭日、年末年始、毎月最終月曜
(8月は10、31日が休館日)

■問い合わせ先

あわくら会館・図書館 TEL 0868-79-2116
教育委員会事務局 TEL 0868-79-2216

お知らせ・蔵書検索はホームページをご覧ください。



「あつまる、つながる、やってみる、」

あわくら会館

■あわくら会館 【開館時間】 8：30～22：00

※あわくら図書館開館時間外は施設利用の予約の上、役場でカギを借りてご利用下さい。

■あわくら図書館【開館時間】 10：00～18：00

住民ワークショップから実現した

夜のあわくらとしょかん

みなさんからの持込企画を歓迎しています。

あわくら会館建設時の住民ワークショップで話題となり、企画化された“夜のあわくらとしょかん”。

こだわりのコーヒーやマフィンの出店、持込企画のボードゲーム体験会など、村民のみなさんによって催され、村民のみなさんと作るイベントに。



▲ ボードゲームがゆっくり楽しめる大人の時間。



▲ カフェやマフィンもあっという間に完売に。



図書館の新刊情報

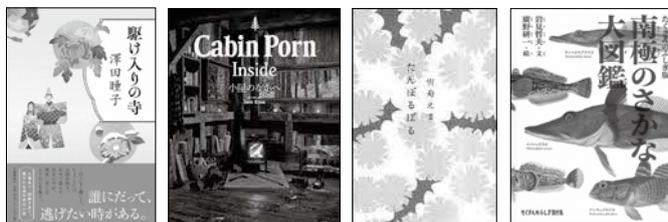
一般書

- 『家族じまい』 桜木紫乃／著
- 『賭け入りの寺』 澤田瞳子／著
- 『いちねんかん』 島中恵／著
- 『夏めし100』 高橋雅子／著
- 『Cabin Porn Inside 小屋の中へ』 ザック・クライン／著
- 『たんぽるぽる』 雪舟えま／著
- 『できるテレワーク入門』 法林岳之／著

その他の新刊は、あわくら図書館HPまたは館内設置の図書検索システムをご覧ください。

児童書

- 『南極のさかな大図鑑』 岩見哲夫／著
- 『くろはおうさま』 メネナ・コティン／著
- 他多数



むらまるごと図書館通信 vol.6

村じゅうをまるごと図書館にする「むらまるごと図書館」の各図書館をご紹介します。

「あるの森図書館」

館長 小林辰馬さん
にインタビュー！



—むらまるごと図書館を始めたきっかけは何ですか？

『僕（店主小林）自身が、図書館や本そのものによって救われた大きな経験があり、今度は自分が、本を通じてささやかながら誰かの手助けができれば良いなと思ったからです。』

—図書館のテーマを教えてください？

『古民家図書館で自分探し。（現在は世界の写真やアートブック、生き物図鑑、植物図鑑、農業がメイン）』

—子どもの頃好きだった本は何ですか？

『中学生のときに友達から教えてもらった、阿智太郎／著、僕の血を吸わないでシリーズ。』

—最後にひとことお願いします。

『本の内容はさることながら、装丁の面白さや手触り、インクや紙のもつ独特なおい、いろんな角度から本を楽しんでもらえる図書館を目指しています。』

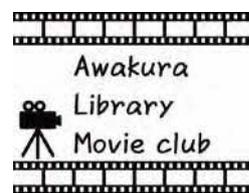
百森ひろばがホームシアターに！

映画「ベイブ」

アカデミー賞受賞作品。牧羊豚になることを夢見る無垢な子ブタの奮闘を描く感動作。

■日時 8月23日（日）
13：30～15：10

■定員 各20名（申込順）



特色

～ふるさとの自然や人に学び、子どもたちの生きる力を育む西粟倉ならではの教育プログラム～

ある教育 通信

西粟倉を元気にする活動

「クリーンプロジェクト」

西粟倉小学校6年

7月は、小学校6年生の「クリーンプロジェクト」に参加しました。
6年生は「西粟倉を元気にしよう」をテーマに、5年生までに学んだことを活かして、村を元気にするために自分たちができることを考えてきました。そのうちのひとつとして、多くの人が訪れる道の駅 あわくらんど周辺をきれいにし、村の人にも外から訪れる人にも喜んでもらうことをめざす「クリーンプロジェクト」を行うことになりました。

学校から徒歩であわくらんどへ向かいながら、道沿いに落ちていたごみを拾いました。道沿いでは吸い殻が多く落ちていたのが印象に残りました。あわくらんどと甸の里の周辺では、ごみ拾いに加えて玄関前の草むしりも行い、きれいにすることができました。この日は、用意した一輪車3台がいっぱいになる量のごみや雑草が集まりました。

参加した6年生は、「きれいにできてうれしかった。その日はごみを拾いながら下校した」「またクリーンプロジェクトをするなら、すみずみまできれいにしたい。観光客ももっと増えてほしい」など、きれいになったことに手応えを感じているようでした。

6年生は「クリーンプロジェクト」の他にも村を元気にするアイデアを考えてくれているので、これから一緒に形にしていければと思います。
(教育コーディネーター 新庄 直明)



■自転車で見えない風景を求めて ▲「木工房ようびにて」

「村の中で見たことない場所や風景を撮影しよう。」と6月21日(日)に隊員20名、ボランティアさん9名とカメラを片手に自転車で村内を探検しました。

あわくら会館から堂屋敷・木工房ようび・天岡公園の3箇所を目指し、そこでしか見えない風景を撮影しました。

途中には、普段は車やスクールバスではあつという間に通り過ぎて気付くことができないこと、例えば川の向こう側からしか見られないあわくらんど木回廊の風車がつくるハートマークを見つけたり、温泉駅のためき像が4体あることを知ったり、途中モリアオガエルの卵を発見したりと、自転車でたくさんの初めてを発見することができました。

もう一つの初めてである使い捨てカメラ(レンズ付フィルム)は、デジタルカメラと違い、撮り直しができないため、村広報係の福井啓太さんに、写真の上手な撮り方を教えてもらいました。

隊員たちは途中何度もファインダーを覗いて一生懸命に撮影を楽しんでいました。



■目的地でもたくさんの初めて

堂屋敷では(株)ほんまもんの奥出一順さんに「この家の柱は300年前からこの家を支えているんだよ」などたくさんのお話を聞かせていただきました。

ようびでは、府川菜樹さんに2階の展望デッキに案内していただき、そこからしか見えない村の風景を撮影させていただきました。

天岡公園では、エーゼロ(株)の森田修さんに新しくできた起業支援施設のインキュベーションセンターを案内していただきました。

あわくら会館に戻り、撮影した写真をスクリーンに映して、今日一番の思い出の写真を笑顔で見返し、写真の楽しさを体験できました。



あわくら大学

■ 7月講座 ■ 「からだを整える」

7月17日（金）あわくら会館にて、アイリー鍼灸院の角田太一院長にお越しいただき、「からだを整える」というテーマでお話をいただきました。

ケガや病気になる前に自分でからだを整えるポイントを、普段から家でできることを中心に教えていただきました。無意識にしている呼吸は、鼻から吸って口から吐くように意識し、みんなで大きく深呼吸を繰り返しました。次に肩や股関節、足首等様々な運動を教えていただき、最後に万能なツボを紹介いただきました。「からだがすっきりした」「股関節の体操をしたら、短く見えていた足の長さがそろってびっくり！」等とても熱心に取り組みま



ました。ツボの場所がわからない大学生には、一人ひとり実際に足をさわってツボを教えてください、ツボの場所をしっかりと習得している様子でした。



後半には、地域おこし協力隊で理学療法士の泉真理恵先生と、同じく地域おこし協力隊で看護師の伊藤仁美先生より、同じテーマでケガや病気等不調な時に自分で整える方法を教えていただきました。



■ 8月講座のご案内 ■

映画鑑賞「僕のワンダフルライフ」

- 日 時：8月21日（金）10時～
- 集 合：あわくら会館

村の介護保険の「今」 パート⑩ 一介護保険料一

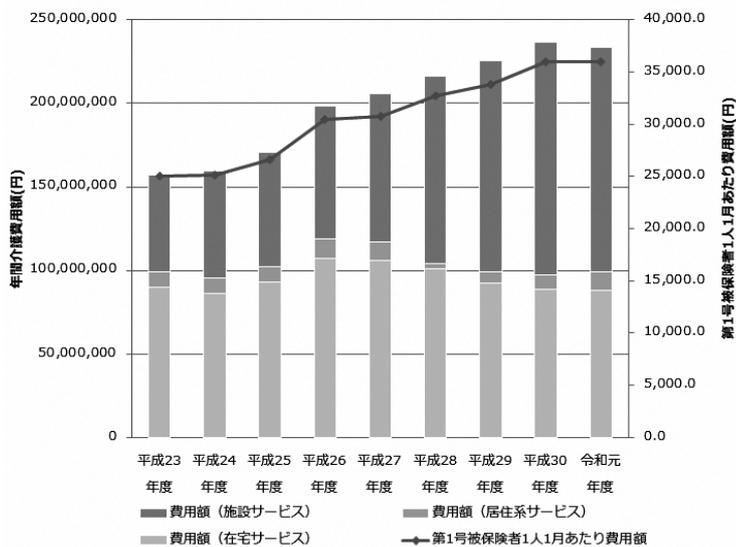
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査へのご回答、ありがとうございました。今年度は3年に一度の介護保険料の見直しを行い、令和3年度から5年度までの保険料を決定する年です。保険料は3年間の介護サービス量の見込み等を記載した介護保険事業計画に基づき決まります。

介護保険料算出の元となる介護給付費は、増加し始めたH24年度からH30年度の期間、平均6.4%（うち施設サービス費は12.5%）増加し続けていましたが、令和元年度実績では2億2857万円と8年ぶりに前年比で減少しています。

しかしながら、1号被保険者1人1月当たり費用は36,020円/月と全国12番/1571保険者（県内2番）と他保険者と比べ、高額な状況が続いています。

これから、介護保険事業計画策定委員会により、皆さんにご協力頂いたニーズ調査の結果も反映させながら計画策定を進めていきます。

西粟倉村の介護費用額の推移



【西粟倉村 保健福祉課 ☎0868-79-7100】

「救急医療週間」のお知らせ

「救急医療週間」は、救急業務及び救急医療に対する皆様の正しい理解と認識を深めていただくとともに、救急医療関係者の意識高揚を図ることを目的に毎年実施しています。

9月9日を「救急の日」、また救急の日を含む9月6日(日)から9月12日(土)までの一週間を「救急医療週間」と定めています。

現在、全国的に救急件数が増加の一途をたどっており、緊急でない場合に救急車を呼ぶと、本当に救急車を必要としている人のもとへ到着が遅れるということが問題になっています。救急車を適正に利用していただけるようお願いいたします。

救急車を必要とする事故を起こさないように、下の図を参考にして予防を心がけましょう。

事故の原因を知って対策をしましょう!

<p>1位 転倒 段差、玄関、廊下など</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 段差につまずかないよう気をつけましょう ■ 転倒を防ぐために整理整頓を心がけましょう ■ 階段、廊下、玄関、浴室など滑り止め対策をしましょう 	<p>2位 転落 階段、ベッド、脚立、椅子など</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 階段などには手すりを配置しましょう ■ ベッドにも転落防止の柵をつけましょう ■ 脚立などを使用して作業をする時は補助者に支えてもらいましょう
<p>3位 窒息 食物(餅・肉等)、菓等の包装など</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 細かく調理。ゆっくりよく噛むことで窒息予防 ■ お茶などの水分を取りながら食事をしましょう ■ 急に話しかけて、あわてさせないように気をつけましょう 	<p>4位 ぶつかる 家具、人、柱、ドアなど</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 慌てず、周りをよく見て行動しましょう ■ 通路などに物を置かないようにしましょう ■ 暗いところは十分な明るさを確保しましょう



事故を防ぐために

● 事故防止にはご家族などの協力も大変重要です

● 熱中症対策には、早めの水分補給を心掛けましょう



FDMA 消防庁 救急ポータルサイト 検索

※発生事例の多い順に番号をつけています。参考資料「東京消防庁救急搬送データからみる日常生活事故の実態」

【美作市 消防本部】

「自筆証書遺言書保管制度」が新たに始まります!

本年7月10日(金)から、自筆証書遺言書の保管を法務局に申請することができる手続きを新たに開始しました。自筆証書遺言を検討されている方は、是非本制度をご利用ください。

岡山県内では、本局とすべての支局において取り扱います。詳しくは岡山地方法務局供託課までお問合せ下さい。

●保管申請手数料：1件につき3,900円

【岡山地方法務局供託課 ☎086-224-5699】

就職活動中のみなさん！ ジョブカフェおかやまをご利用ください

ジョブカフェおかやまでは、40歳代までの方を対象に若者就職相談を行っています。専門のキャリアカウンセラーが、マンツーマンで就職相談に応じます。ハローワークとも連携して、みなさんの仕事探しを応援します。

就職相談、面接の練習、応募書類（自己PR、志望動機など）の作成アドバイス等、お気軽にご相談ください。

ジョブカフェおかやま・津山相談室

■場所：津山圏域雇用労働センター 1階

■電話：0868-23-0850

■時間：平日 午前8時30分～午後5時（受付 午前9時～午後4時）

土・日・祝・年末年始は休み

※ご利用は無料です。

【問合せ・連絡先】

ジョブカフェおかやま（担当：野上）

電話：086-236-1515

おしえて **ねんきん**

国民年金の加入方法

国民年金は、誰もが加入する公的年金制度です。

基本的に日本に住む20歳以上60歳未満のすべての方は、国民年金に加入する義務があります。加入者は、職業などによって次の3つのグループに分かれており、それぞれ加入手続きが異なります。

・第1号被保険者

20歳以上60歳未満の農業者・自営業者・学生・フリーター・無職の方などです。

加入手続きは、ご自身で住所地の市区役所・町村役場の国民年金担当窓口で行います。

・第2号被保険者

会社員や公務員などの厚生年金保険に加入されている方です。

加入手続きは、勤務先が行います。

・第3号被保険者

第2号被保険者に扶養されていて年収130万円未満の20歳以上60歳未満の配偶者の方です。

加入手続きは、第2号被保険者の勤務先を経由して行います。

会社を退社したときは、第2号被保険者から第1号被保険者への変更の手続きが必要となりますので、お早めにお手続きをお願いします。

★詳しくは、津山年金事務所（電話 0868-31-2360）までお問い合わせください



☆☆ ゆうゆうハウス・ひだまりだより ☆☆

「地域おこし協力隊」の泉さんと伊藤さんが村の様子を知るためには、まずは人と触れ合うことが一番ということで、6月の1か月間研修に来られました。

ゆうゆう、ひだまりの利用者の方から『あんたらア、何処から来なさったん』『何歳なん?』『どうして西栗倉に来たん。』と興味津々で次々に質問してお二人とも笑顔で答えておられました。

泉さんは、理学療法士の資格があり、利用者さんの姿勢や立ち上がり、歩き方、毎日の体操などの確にアドバイスをして頂きました。伊藤さんは、看護師の資格があり、薬の処置などをスタッフにアドバイスしてくださったり、生活応援センター楽々のボランティアにも積極的に参加して頂きました。お二人とも笑顔と若いエネルギーを振りまいて利用者さんの間で人気者でした。研修場所が変わっても度々顔をだしてほしいです。



平行棒を利用して歩行練習。足の出し方・体の使い方などに注意しながら毎日リハビリを行っています。職員もいい勉強をさせて頂きました。



生活応援センター楽々での活動の様子



7月の梅雨に入り憂鬱な毎日が続いていますが、ゆうゆうハウスでは、毎年恒例の七夕飾りを準備しています。利用者の方に、願い事を書いた短冊を書いてもらっています。今年は、新型コロナウイルスや大雨による災害が起きています。皆さんの前向きな願いごとが叶いますように！

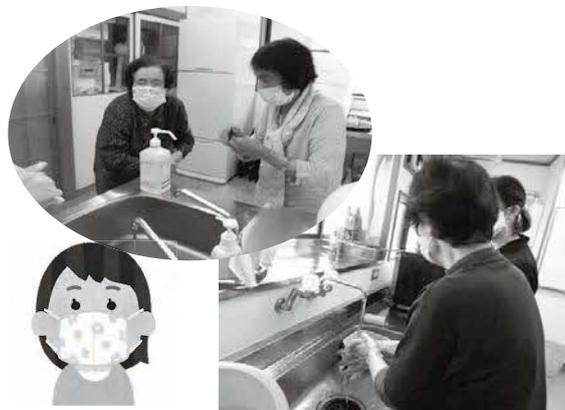
☆☆ 地区サロン活動が再開 ☆☆

6月から新型コロナウイルス感染拡大の予防をしながら、地区サロン活動が再開されています。

各地区、約3か月振りに公民館に集まり、新しい生活様式を守り、「密閉」「密集」「密接」の3つの密を避けるようお願いしました。感染予防で重要な手洗いの方法と手や備品等の消毒の仕方を伝えて、実際に手洗いをしてもらいました。

皆さん、「手洗いはしっかりせんといけん」「マスクするのも大変じゃけど、感染予防せとなあ」「でも、皆でやっぱりこうやって集まるの楽しいな」と距離を保ちながら話をされていました。

今後も感染予防をしながら集まりたいと言われていました。



☆☆ 小学生より頂いた花が咲きました ☆☆

西栗倉小学校より頂いた、マリーゴールドの花は咲き、ひまわりの花はもうすぐ咲きそうです。

外出自粛でステイホーム中の5月に高齢者の方、ひとり暮らしの方、いきいきふれあいセンター、社協で種を蒔きました。小学生からもらった種ということでそれぞれ大切に育てています。水やりをして双葉がでて、すくすく成長し、きれいな花が咲きました。ステイホーム中の高齢者の方は、コロナに負けず花が咲くのを楽しみにされている方も多くおられました。

今年できた種をまた来年も植えようと言われていました。小学生の皆さん、ありがとうございました。



人

令和2年7月1日現在

の動き

- 人口 1,435人(+2)
 - 男 666人(+2)
 - 女 769人(±0)

(6月中の異動：出生1人、死亡3人、
転入8人、転出4人)

- 世帯 616戸(+1)

(R 2.6.17～R 2.7.15まで)

- お悔やみ申し上げます

・白岩 和雄さん(別府) 6月12日 82歳



- お誕生おめでとう

・岡田 我玖ちゃん

6月24日生まれ

(大茅)

お父さん 和也さん

お母さん 詩織さん

・井上 咲七ちゃん

7月4日生まれ

(別府)

お父さん 達哉さん

お母さん 宏美さん

・清水 蓮斗ちゃん

7月13日生まれ

(知社)

お父さん 貴志さん

お母さん 由季那さん

善

意の窓 社会福祉協議会から

(R 2.6.17～R 2.7.15まで)

- お悔やみ申し上げます(香典返し)

・別府 白岩 壮一様 父 白岩 和雄様

・中土居 岩江 靖子様 父 河野 嘉徳様

入

札情報

(令和2年7月10日まで)

※入札金額120万円以上を掲載しています。

発注課	事業名	施工場所	落札業者名	契約金額(税込)
保健福祉課	西粟倉村診療所発熱外来入口新設工事	影石地内	有限会社 春名材木店	3,300,000円

川柳粟の実 七月句会から

甘える

爺さんに曾孫甘える夏休み

飾る

結納を飾りいよいよ娘をわたす

七五三愛情集め赤いべべ

隣り

朝晩の挨拶交わすお隣さん

日々生活支え合うのはまず隣り

ゆったり

年老いて何をするにもゆったりと

自由吟

うたた寝で目覚めて寒し梅雨最中

想い出をたぐりよせてる日記帳

温かい心が通うであい茶屋

逢う度に元氣貰える友がいる

◎八月句会のご案内

八月五日(水)午後一時三十分から

『あわくら会館』に於いて開催します。

自由吟	妻子選
鍵	栄子選
軽い	みさえ選
どきどき	吉男選

小林 妻子	土居みさえ	井上 吉男	国里 和夫	熊見まちこ	萩原 洋子	建元 照子	清水 早苗	西本 栄子	河野 孝子
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

令和2年国勢調査を実施します



- 国勢調査は、2020年（令和2年）10月1日現在、日本に住んでいるすべての人及び世帯が対象です。
- 9月中旬から、調査員がみなさまのお宅を訪問し、調査書類を郵便受けに入れるなどしてお配りします。
- 回答は、できる限りインターネットでお願いします（郵送も可能です）。
- 国勢調査の結果は、災害時に必要な物資を備えたり、コンビニの出店計画に利用されるなど、わたしたちの生活の身近なところに役立てられています。



国勢調査については、「国勢調査2020総合サイト」をご覧ください。

日	月	火	水	木	金	土
8/9 田尻病院	10 山の日 図書館休館日 可燃ごみ 原田内科医院	11	12	13 可燃ごみ	14 かん類	15 ・成人式 10:00～ (あわくら会館)
16 福井医院	17 可燃ごみ	18	19 ・すくすく子育て相談 10:30～11:30 (パンビ)	20 可燃ごみ	21 資源ごみ	22 【会館イベント】 ・革のプレスレット& フローチづくり ・レジンアクセサリー づくり (P4参照)
23 【会館イベント】 ・みんなでシネマ (P5参照) 青山医院	24 可燃ごみ	25	26	27 可燃ごみ	28 びん類	29
30 ・森のおもちゃで遊ぶ Day 10:00～15:00 (あわくら会館) 作東診療所	31 図書館休館日 個人村県民税第2期 国民健康保険税8月期 後期高齢者医療保険料8 月期 可燃ごみ	9/1 古紙類	2 小児科健診 (いきいきふれあいセ ンター)	3 可燃ごみ	4 総合相談会 13:00～16:00 (あわくら会館) 資源ごみ	5
6 【会館イベント】 ・猫皿と刺繍フローチ づくり (P4参照) 金澤外科医院	7 可燃ごみ	8	9	10 可燃ごみ	11 かん類	12

☞ 休日急患医（美作市医師会）は、6月5日現在の予定です。利用にあたっては医療機関に必ずご確認ください。

☞ 納付期限にご注意いただき納付をお願いします。口座振替の方は残高確認をお願いします。

広報

発行 〒707-0503 岡山県英田郡西粟倉村影石2

西粟倉村役場 総務企画課

TEL 0868-79-2111 FAX 0868-79-2125

印刷 (資) 谷本弘輝堂



古紙のリサイクルに取り組むオフィス町内会と森林の再生に取り組む岡山県西粟倉村との連携により実現した「森の町内会一問伐に寄与する紙一」を使用しています

令和2年8月号

No.687